

株式会社SHOEI 2020年9月期決算説明会

2020年11月26日



I 2020年9月期決算実績 P. 2

II 2021年9月期業績予想 P. 12

III 成長戦略 P. 18

Appendix. 会社概要 P. 28

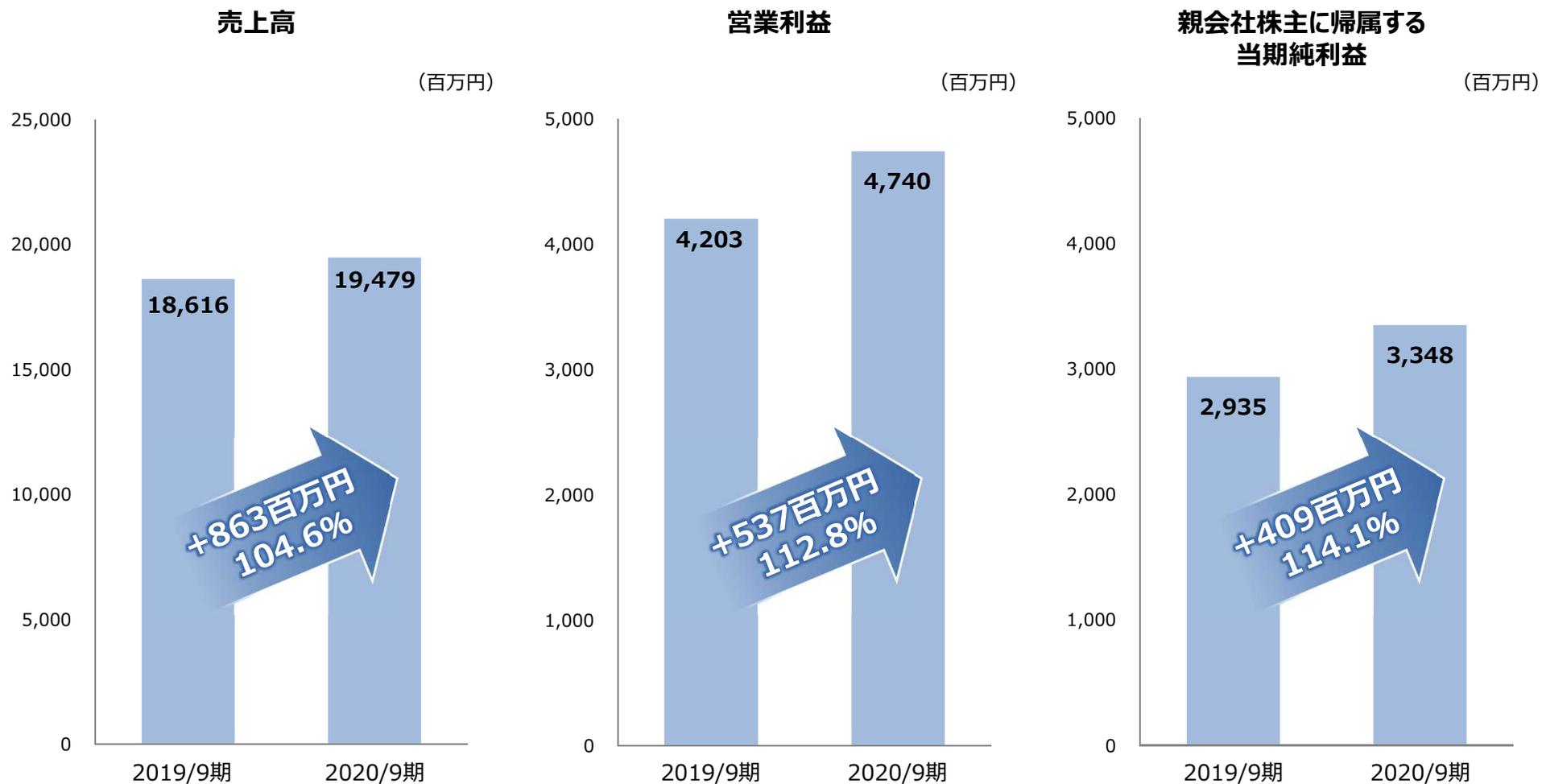
I . 2020年9月期決算実績



① 決算実績概要



売上高/営業利益/親会社株主に帰属する当期純利益



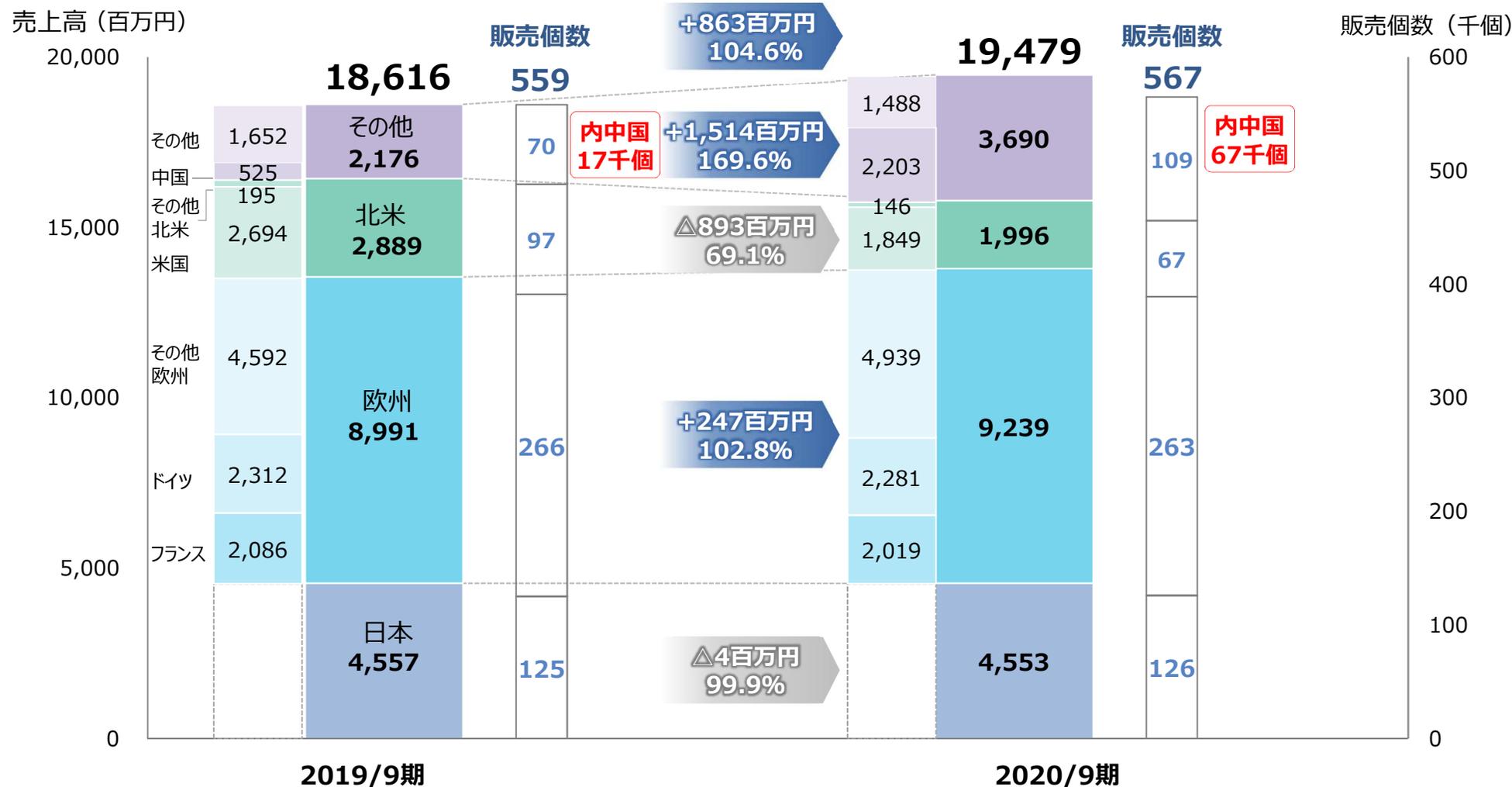
ROE 20.4% ▶ 21.8%

1. 2020年9月期経営成績

②地域別売上高・販売個数（連結）



地域別売上高・販売個数



子会社期末
為替レート
(6月末)

US\$=¥107.79
EUR=¥122.49

US\$=¥107.74(△ ¥ 0.05)
EUR=¥121.08(△ ¥ 1.41)

③ 2020年9月期マーケット環境とトピックス



2020年2月迄は概ね順調に推移、新型コロナウイルスの感染拡大により2~3カ月のロックダウンや緊急事態宣言の発出に伴い、世界全体で経済活動が大幅に制限

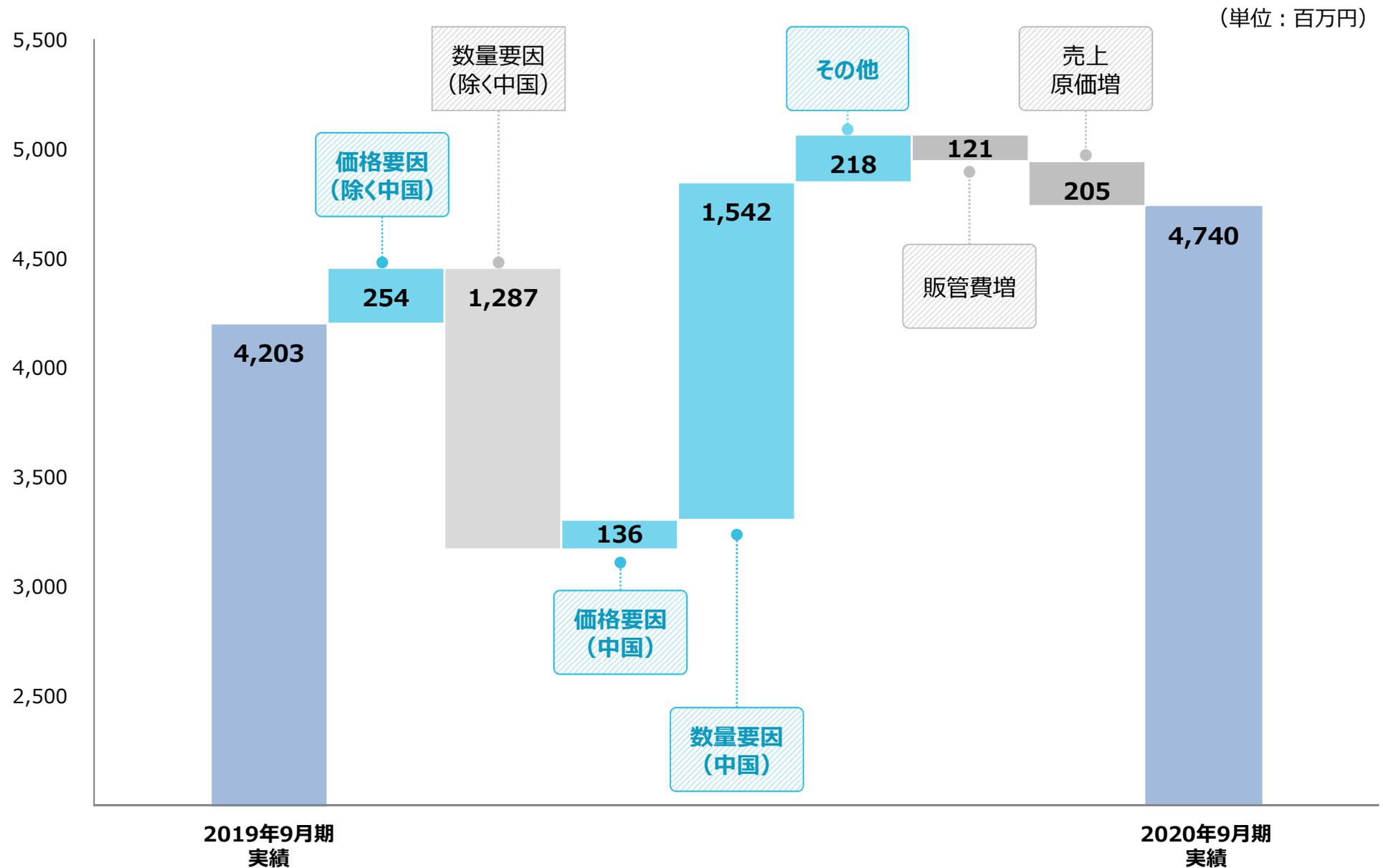
高級二輪乗車用ヘルメット市場

業界環境	欧州	ロックダウンにより小売店の販売が一時停止するも、ロックダウン解除後に小売店の販売再開による急速な需要回復
	アジア	中国をはじめとする東アジアでは感染が早期に収束、消費の拡大が一気に進む
	日本	二輪車用品店をはじめとする販売店は完全休業となるところが少なく、大きな落ち込みは見られず 二輪車が3蜜を回避する安全な移動手段と考える人もいた（10月までの126cc以上のバイク新車販売台数は対前年比11%増121千台）

売上面	欧州	新型コロナ流行前（10月～1月）の好調な受注、ロックダウン解除後にその反動で各国共に需要が大幅に回復したこと、新モデルの好調な販売に支えられたことにより前年度比1%減にとどまる
	北米	新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンの影響が一時かなり深刻であり、米国にて2代理店から1代理店に集約する過程において、もう1社の代理店在庫を継続代理店が引き取りを行ったことによる在庫調整が発生、販売数量は前年度比31%減少
	アジア	中国をはじめとする東アジアでの好調な販売が牽引、前年度比119%増加
	日本	新型コロナウイルス感染の影響は限定的、販売数量は前年度比1%増

利益面	アジアを中心に高価格商品の販売が好調だったことや新型コロナウイルス感染の影響により広告宣伝や海外出張等が中止もしくは縮小となり販売費及び一般管理費が減少した結果、営業利益は前年度比12.8%の増益
-----	--

④ 営業利益増減要因 (実績)

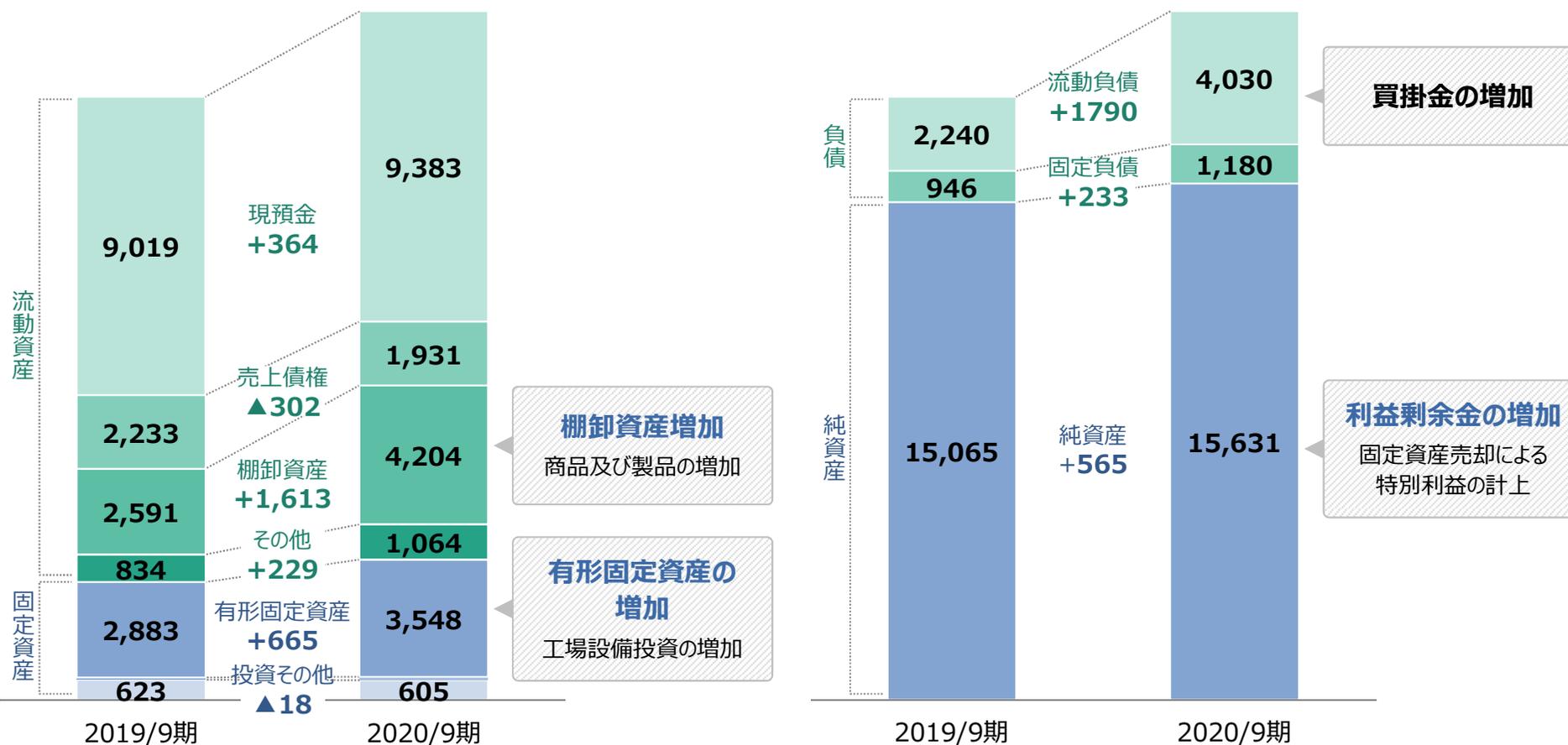


1. 2020年9月期経営成績

⑤ 貸借対照表 (B/S) (連結)



資産 (単位：百万円) **負債/純資産** (単位：百万円)



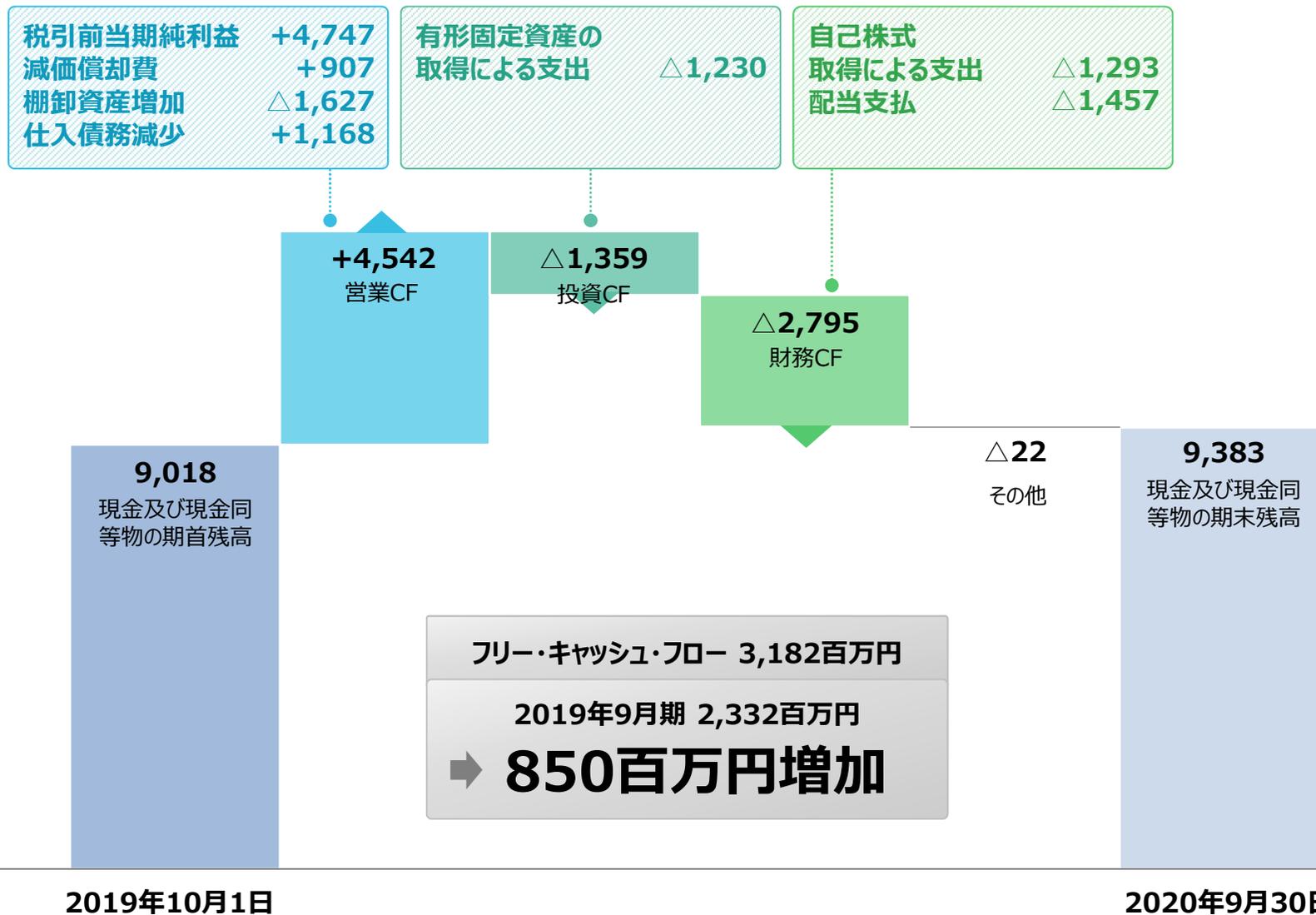
自己資本比率 **82.5%** ▶ **75.0%**

1. 2020年9月期経営成績

⑥ キャッシュ・フロー計算書（連結）



(単位：百万円)



2. SHOEIの強み

①全世界でプレミアムヘルメットと言えば「SHOEI」



- カッコイイ・安全・機能的と3拍子揃った二輪用ヘルメット
- 世界の数々の一流レーサーに愛され、また世界50カ国を超える国々のライダーのこだわりに応える高級ヘルメット
- 世界のプレミアムヘルメット市場で約60%、殆んどの国と地域においてトップシェア
- 高品質と安全の代名詞、所持することがライダーの誇りでありステータス

世界のプレミアムヘルメット市場の売上高約60%以上

世界のプレミアムヘルメット市場 **約800**億円※



※SHOEI推定



Alex Crivillé



Daijiro Kato



Marc Márquez



Wayne Gardner



Norifumi Abe



Wayne Rainey



Eddie Lawson

2. SHOEIの強み

② 高付加価値化と生産合理性を両輪とするMade in Japanの維持

- 国内2工場での自社一貫生産体制を確立、生産モデルを区分するも常時どちらの工場でもフレキシブルに生産可能な体制
- 高度な技術やノウハウをブラックボックス化する情報管理を強化し、優位性を盤石なものにする

① 入念な市場調査

② 社内デザイナーによる斬新なヘルメットデザイン

③ 「ファッション」を「工業製品」に落とし込む開発

商品企画部

商品企画
調査(新技術含む)

設計開発部

アイデアを量産に

工場

生産性の向上

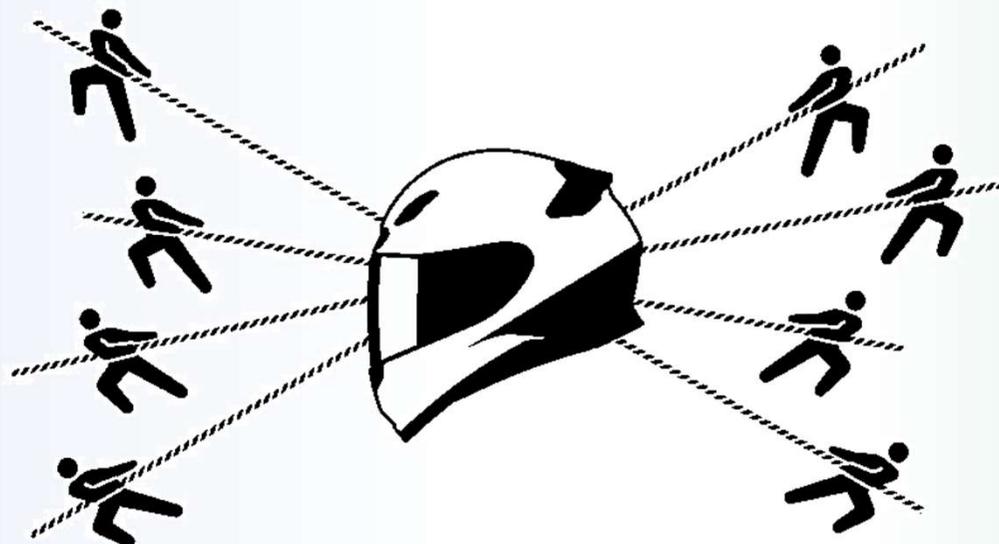
本社サイド

グラフィックデザイン部

斬新なデザイン

造形部

新機能
斬新なデザイン



工場サイド

品質管理部

規格への対応
高品質の維持

資材部

コスト管理

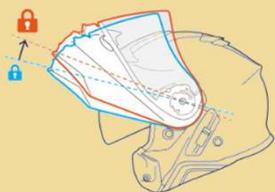
2. SHOEIの強み

③各分野での先進分野への取り組み



- 安全・快適性・感動を最重視しつつ、顧客満足度向上のための既存概念を打ち破る新製品・新市場・新サービスの開拓

ユーザー趣向を重視、利便性・快適性を追求した進化型ヘルメット機能の開発



フリップアップを導入したシステムヘルメットは欧州で主流



ワンタッチ開閉可能なサンバイザーを標準装備



ブランド価値を向上させる有望レーサーの発掘・スポンサー活動



Marc Márquez MotoGP4連覇

世界最先端のエレクトロニクス対応を可能とする研究開発体制



仲間と話す、電話する、音楽を聴くなどコミュニケーションに対応したインターコム付きヘルメット



世界初ナビゲーションシステム付きヘルメットを2021年に発表予定



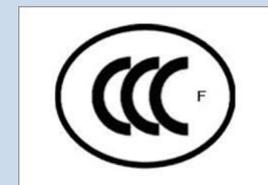
オーダーメイド型サービスとして顧客満足度向上、高付加価値、リピーター拡大、店舗集客力に大きく寄与

顧客満足度・アフターサービス重視を目指したフィッティングシステム「SHOEI Personal Fitting System」

アジア新興市場への先行した取り組み



アジア・中国でのバイクブームに対応し、中国・アジアでのプロモーションを拡大



中国の新規格CCCへの率先した対応

Ⅱ. 2021年9月期業績予想

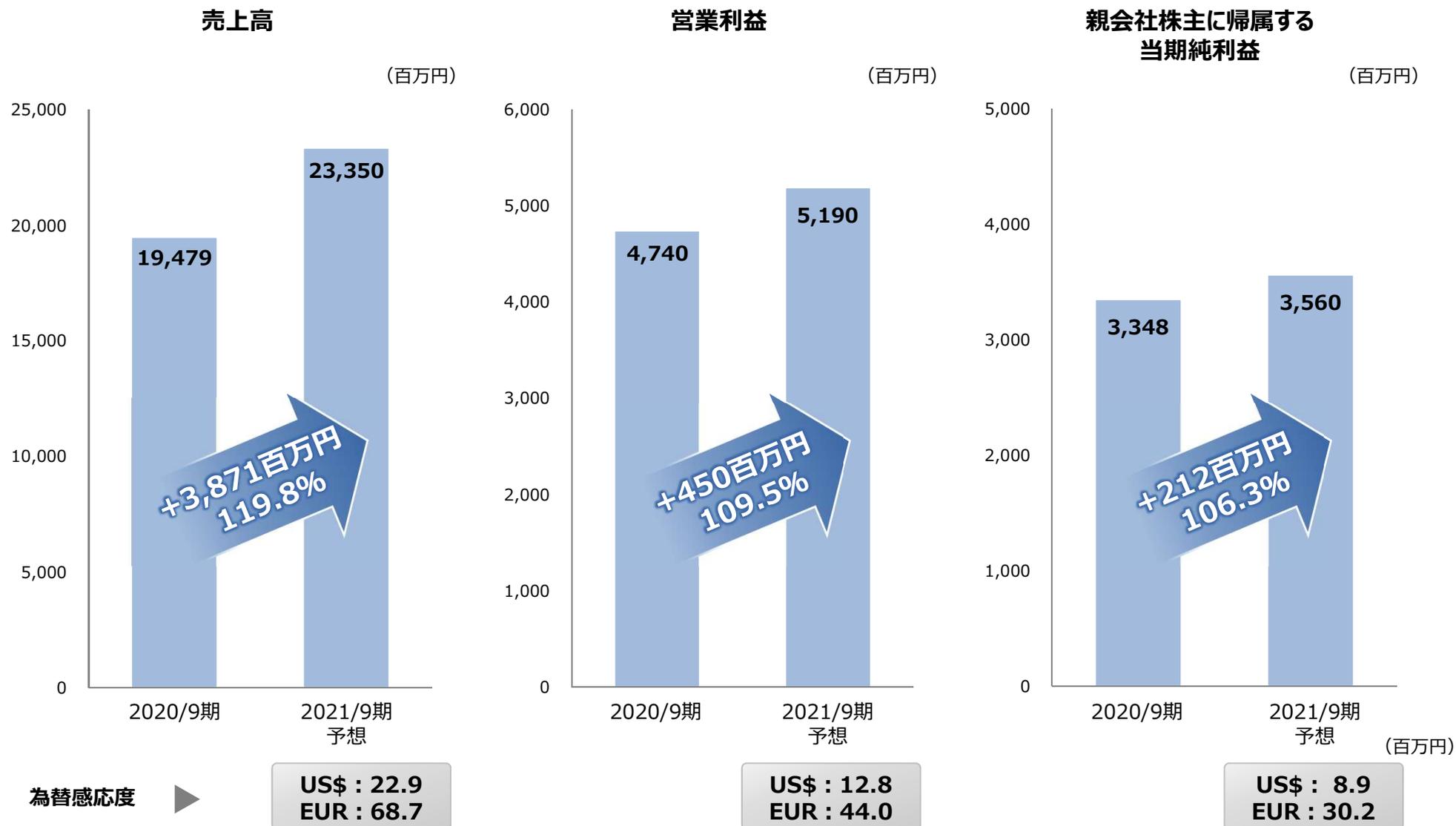


1. 2021年9月期業績予想

① 売上・利益予想



売上高/営業利益/親会社株主に帰属する当期純利益

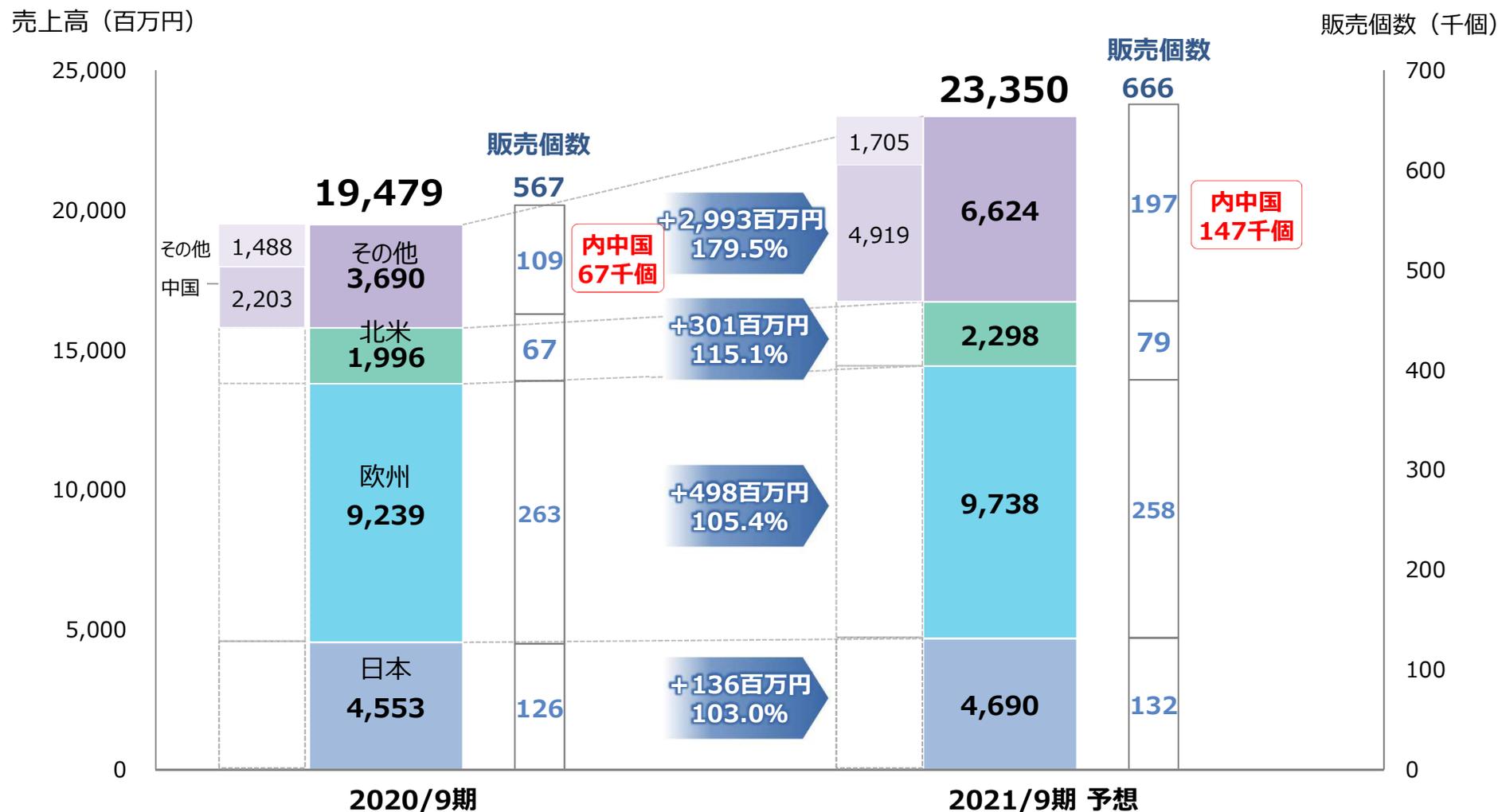


1. 2021年9月期業績予想

②地域別売上高・販売個数予想（連結）



地域別売上高・販売個数



子会社期末
為替レート
(6月末)

US\$=¥107.74
EUR=¥121.08

US\$=¥100.00 (△ ¥ 7.74)
EUR=¥120.00 (△ ¥ 1.08)

③ 2021年9月期業績予想のポイント



世界経済は、新型コロナウイルス感染による落ち込みから回復基調にあるものの、特に欧米を中心に新型コロナウイルス感染が再拡大するリスクを十分にはらんでおり、予断を許さない状況が継続

高級二輪乗車用ヘルメット市場の状況

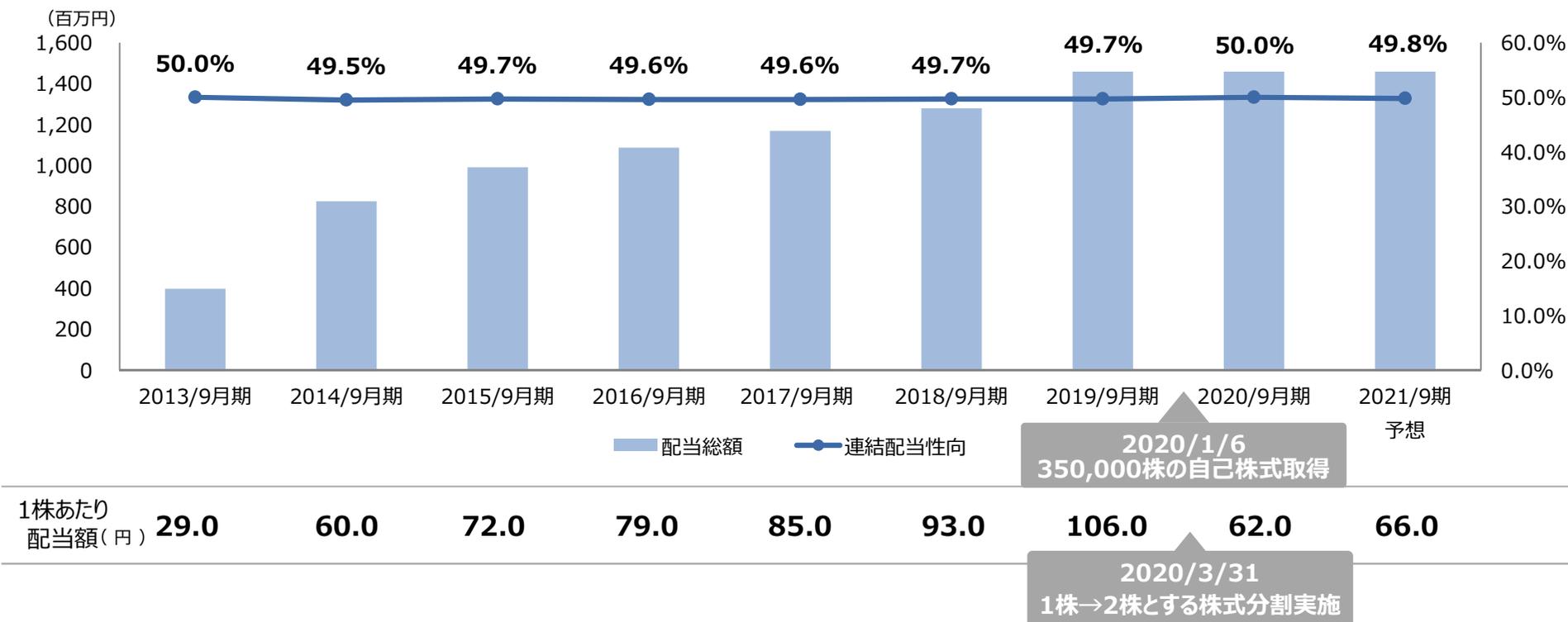
欧州	仮に再度ロックダウン等経済活動に関する規制が課せられた場合においても、飲食業、旅行関連業ほどの直接的悪影響は限定的であろうとの認識から、当期並みの堅調な販売を期待
北米	当期に実施した主力代理店の経営刷新、在庫調整も落ち着くなか、販売増を見込む
アジア	中国を中心に引き続き需要が拡大しており、当期比大幅増を見込む
日本	短期的には新型コロナウイルス感染対策としての二輪需要の漸増、ライダー高齢化のよい一面である高級モデルへの移行や複数個保有の傾向が今後とも続くと思われ、今期並みの堅調な販売を期待

2. 株主還元



配当性向推移

- 「業績に連動した成果の配分」を基本方針とする。財務体質及び経営基盤強化のため株主資本を充実するとともに、連結配当性向50%を目処とした期末配当を実施する方針。2021年9月期は一株あたり66円配当を予定
- 2020年9月期は、2020年1月6日に350,000株の自己株式を取得済（2020年3月350,871株を消却）



株主優待

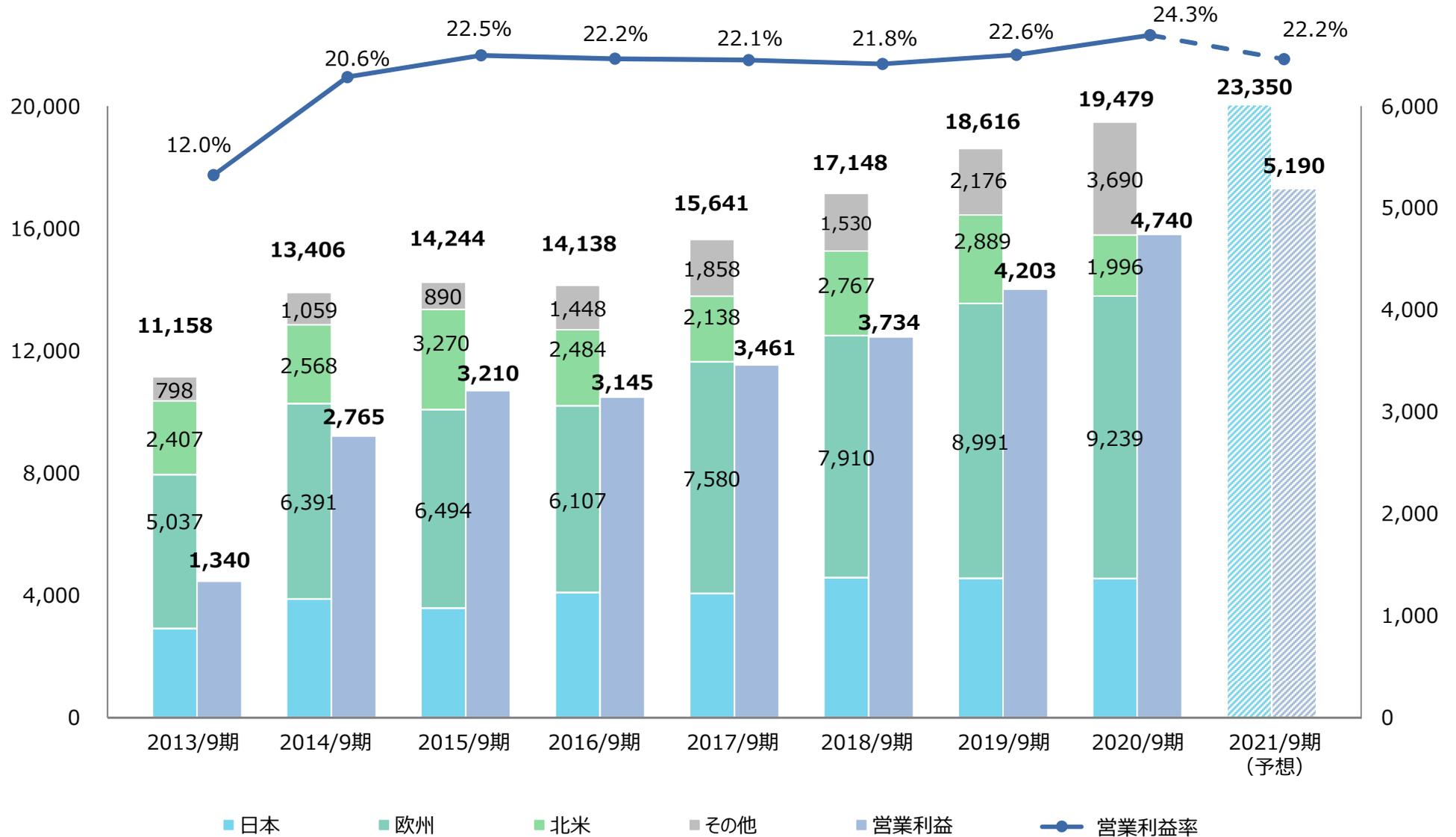
- 2020年8月20日の取締役会において、株主優待制度の導入を決議
- 当社取扱いノベルティグッズまたは自社直営店のみ利用可能 15%ご優待割引券 1枚

3. 連結業績推移



売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



Ⅲ. 成長戦略



ビジネスコンセプト

Quality & Value

経営方針

- 1 健全な財務体質により、事業継続を長期にコミットします
- 2 Made in Japanで勝負します
- 3 お客様の声に耳を傾けます。

経営戦略

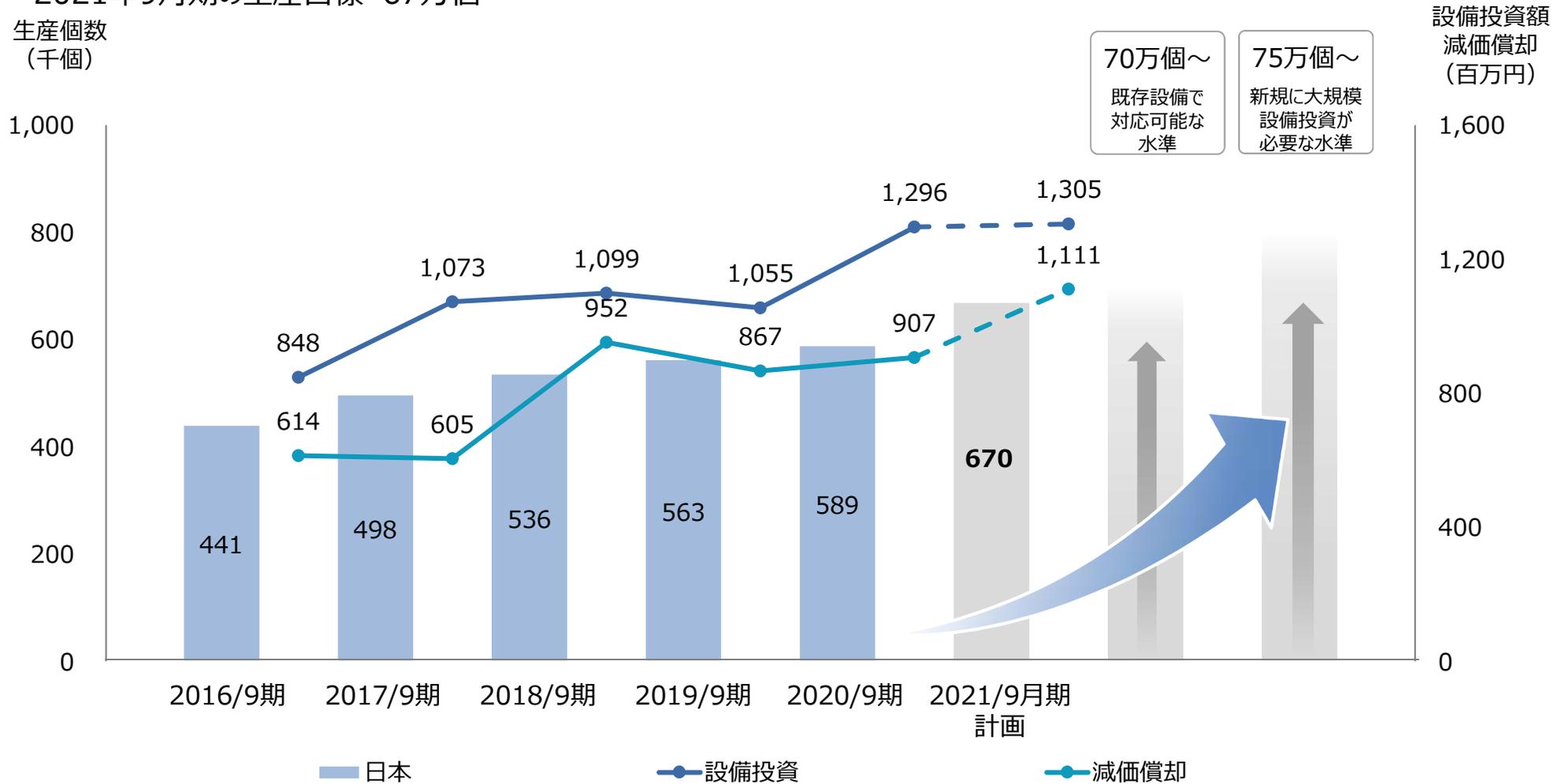
- 1 生産体制の拡充
- 2 商品の高付加価値化/
多種多様化するニーズの取り込み
- 3 改善活動を通じた製造現場の競争力の強化
- 4 E-Commerceやショールームでの販売
- 5 PFS（パーソナルフィッティング）の普及
- 6 広告宣伝
- 7 重点新興国での販売強化
- 8 株主優待
- 9 新事業の検討

1. 生産体制の拡充



- 世界的な販売数量の伸びに対応し、設備投資の継続、人員数の増強により生産能力の継続的な拡大を実施
- 2021年9月期の生産目標 67万個

生産個数
(千個)



2. 商品の高付加価値化、多種多様化するニーズの取り込み



- 多様化するライダーの嗜好に対応し、「お客様のニーズに沿った付加機能」を備えた、クラシックモデルや利便性の高いモデルを展開
- 研究開発体制を拡充し、エレクトロニクス対応を促進、時代の最先端を走る製品開発によりブランドカアップを図る

<Glamster> ニュークラシック フルフェイスモデル

- SHOEIの技術をクラシカルなデザインに落とし込み、クラシックスタイルと機能性を両立させた新たなネオクラシックフルフェイス



Design



“進化系Classic Style”

Shield



高いデザイン性とクリアな視界の新開発CPB-1Vシールド

PINLOCK® EVO lens



シールドの曇りを防ぎ、クリアな視界をキープ

<スマートヘルメット> 視界ナビゲーション付ヘルメットの開発

- ナビゲーションが表示される「ヘッドアップディスプレイ」内蔵のフルフェイスヘルメットをNSウエストと共同開発、2021年発売予定



東京モーターサイクルショー-2019 (2019/3) 参考出展



<RF-1400 / Z-8 / NXR2>

スポーティー、軽量、コンパクトの進化系

北米 (RF-1400)

販売開始：2020年12月上旬

希望小売価格：US\$499.99～US\$599.99

ヨーロッパ (NXR2)

販売開始：2021年10月頃

希望小売価格：未定

日本 (Z-8)

販売開始：2021年春頃

希望小売価格：未定

参考：

旧モデル<RF-1200 / Z-7 / NXR>

2013年9月～2020年10月までの

総販売数量：867千個

3. 改善活動等を通じた製造現場の競争力強化



- ジャストインタイムシステムによる改善活動を通じ、国内両工場の競争力を持続的に強化する

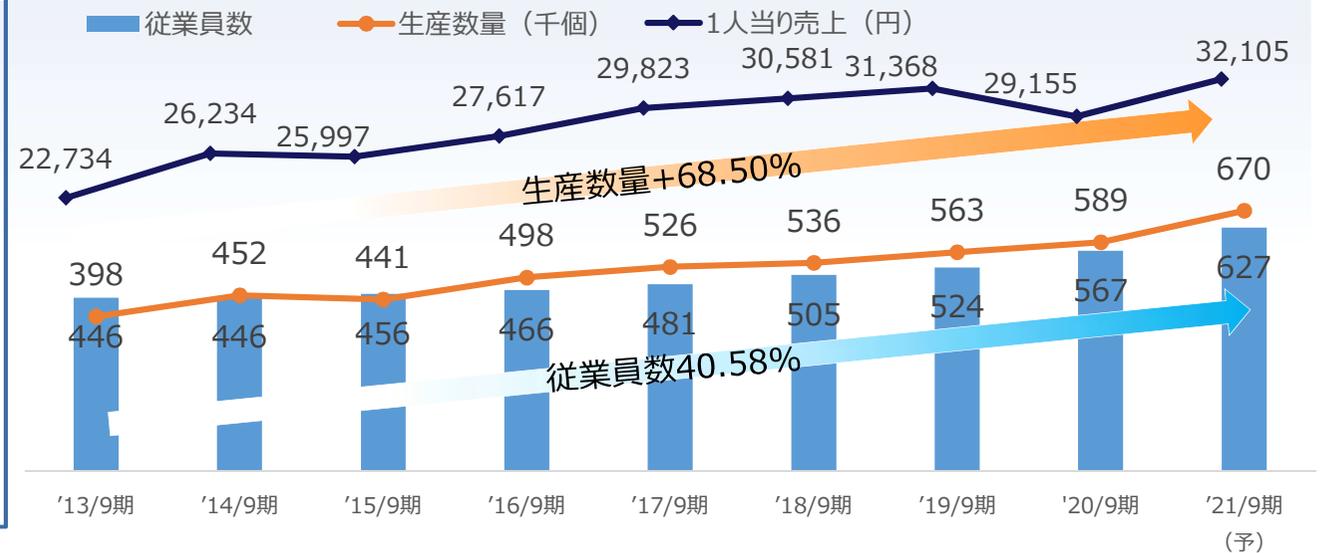
「ジャスト・イン・タイム」方式による効率の追求



- 20年以上導入している生産改善システム
 - 品質の向上
 - 無駄の排除
 - 厳格なコスト管理
 - 人員適切配置における生産プロセス合理化



生産性向上推移



4. E-Commerceやショールームでの販売



- リペアパーツを中心にEコマースサイトを充実、世界各国でユーザーニーズにきめ細かに配慮
- 新たな市場開拓のため、直販ショールームSHOEI Gallery Tokyoを2020年3月オープン

EC市場開拓

ECサイトを通じ、お近くに販売店がないお客様へのフォロー体制を強化



直販ショールーム SHOEI Gallery Tokyo



2020年3月オープン

SHOEI製品の展示スペース、
現行ラインナップ品で発売中の製品を展示・発売、全て試着可能
PFSサービスを提供

2F



SHOEI契約ライダーの本人用ヘルメットや写真等展示

1F



5. PFS (パーソナルフィッティング) の普及



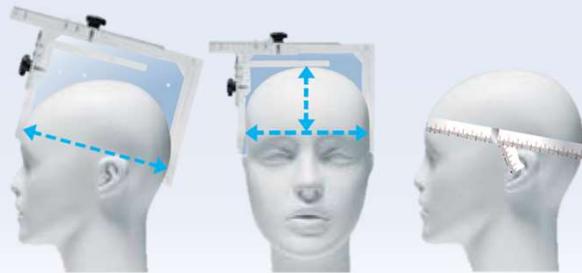
- SHOEI Gallery Tokyoをはじめ、全国・世界のSHOEIテクニカルショップにおいてPFSを提供、ユーザーにジャストフィットする内装をカスタムメイドするプレミアムなサービスを提供

内装調整サービス「SHOEI Personal Fitting System」

- 頭部の各部を詳細に計測、データに基づいてユーザーに最適なヘルメットサイズを診断
- 専用パッドを使用した、オーダーメイド感覚のジャストフィットする内装

① 計測

個人差があるアタマの形を技術をマスターしたスタッフが詳細に専用の計測器で測定



② 調整

細かく分かれたパッドのコンビネーションによりホールド感とフィット感を調整



国内イベント会場におけるPFS



海外テクニカルショップでのPFS

6. 広告宣伝



- MotoGPの代表選手マルク・マルケス、アレックス・マルケス兄弟と2024年末までのレーサー契約を延長

スポンサー活動によるプロモーション



X-Fourteen
MARQUEZ5

2016~2019 Season **No.1**

2015 Season **No.3**

2013~2014 Season **No.1**

2020/9期 レプリカモデル

販売数量 **51.9** 千個

7. 重点新興国での販売強化

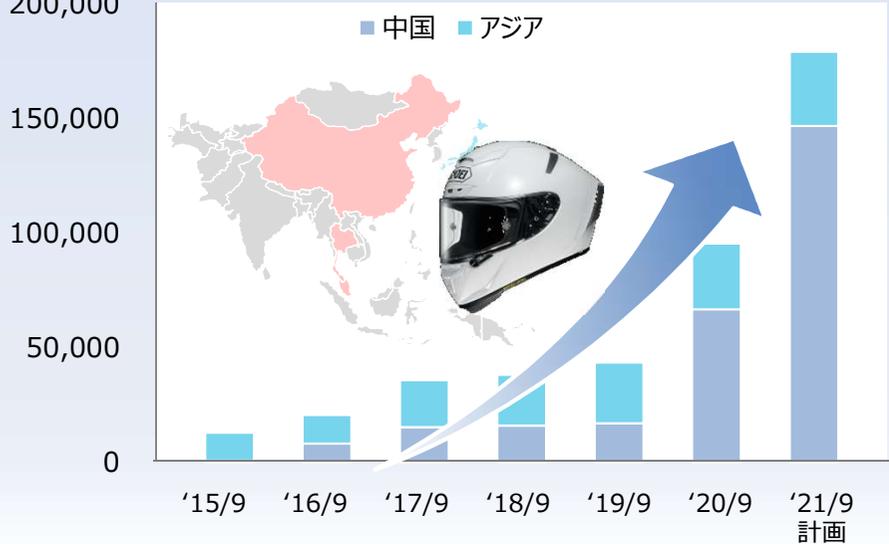


- 今後の若年層を中心にライダー人口、バイクブームの拡大が期待されるアジア、中国を中心とした販売を強化、プロモーション活動を拡大

アジアにおける販売強化

アジア市場販売数量推移

販売個数（個）
200,000



中国規格モデルへの対応

- 中国CCC規格※の取得、取引を再開



CCC適用前 (JIS規格)

~2018年9月期

X14 NEOTECH II TR-3
Z7 J-Cruise J-O
RYD J-FORCE IV HORNET ADV
GT-Air FREEDOM VFR-WR

12モデル

CCC適用後

~2020年9月期



Z7 GT-Air II J-Cruise II X14

CCC適応4モデル

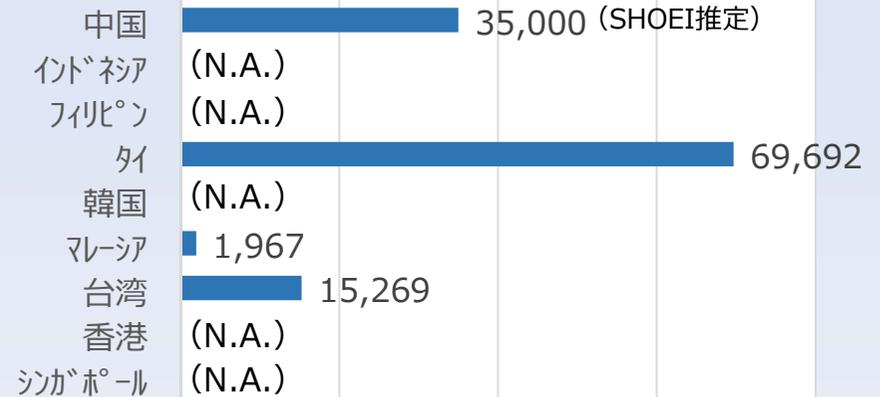
※ (China Compulsory Certificate system)

国内技術の標準に適合し、輸入が認められるかを中国政府が審査・認証が与えられる制度、2017年11月よりバイク用ヘルメットにも適用

アジア市場概観

2019年大型二輪車販売台数 (250cc超) (台)

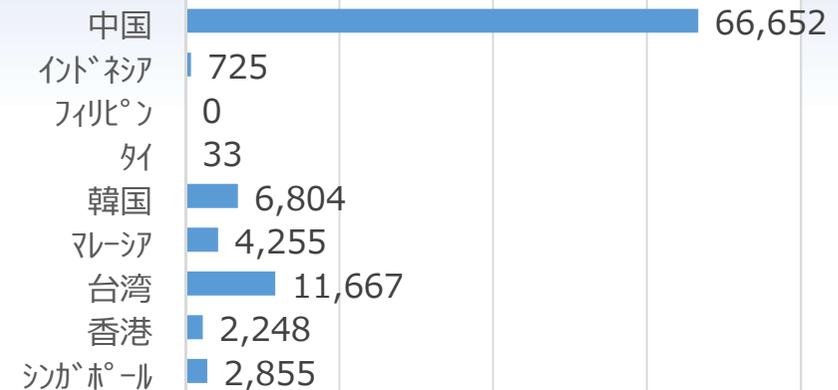
0 20,000 40,000 60,000 80,000



(出所) 各国統計資料等によりSHOEI推計

'19.10-'20.09当社出荷数

0 20,000 40,000 60,000 80,000 (個)



8. 株主優待



- 2020年8月20日の取締役会において、株主優待制度の導入を決議
- 当社取扱いノベルティグッズまたは自社直営店のみ利用可能 15%ご優待割引券1枚

当社取り扱いノベルティグッズ



Appendix. 会社概要



1. 会社概要



会社名	株式会社SHOEI / SHOEI Co.,Ltd.
本社	東京都台東区台東一丁目31番7
設立	1959年3月17日
事業内容	オートバイ用ヘルメットを中心に、 官公庁用（防衛省用、警察庁用）ヘルメットの製造・販売
売上高	19,479百万円（連結/2020年9月期）
経常利益	4,746百万円（連結/2020年9月期）
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,348百万円（連結/2020年9月期）
資本金	1,394百万円（連結/2020年9月末）
従業員数	600名 [※] （連結/2020年9月末） <small>※内、嘱託・パートタイマー121名</small>
証券コード	7839 東証第一部

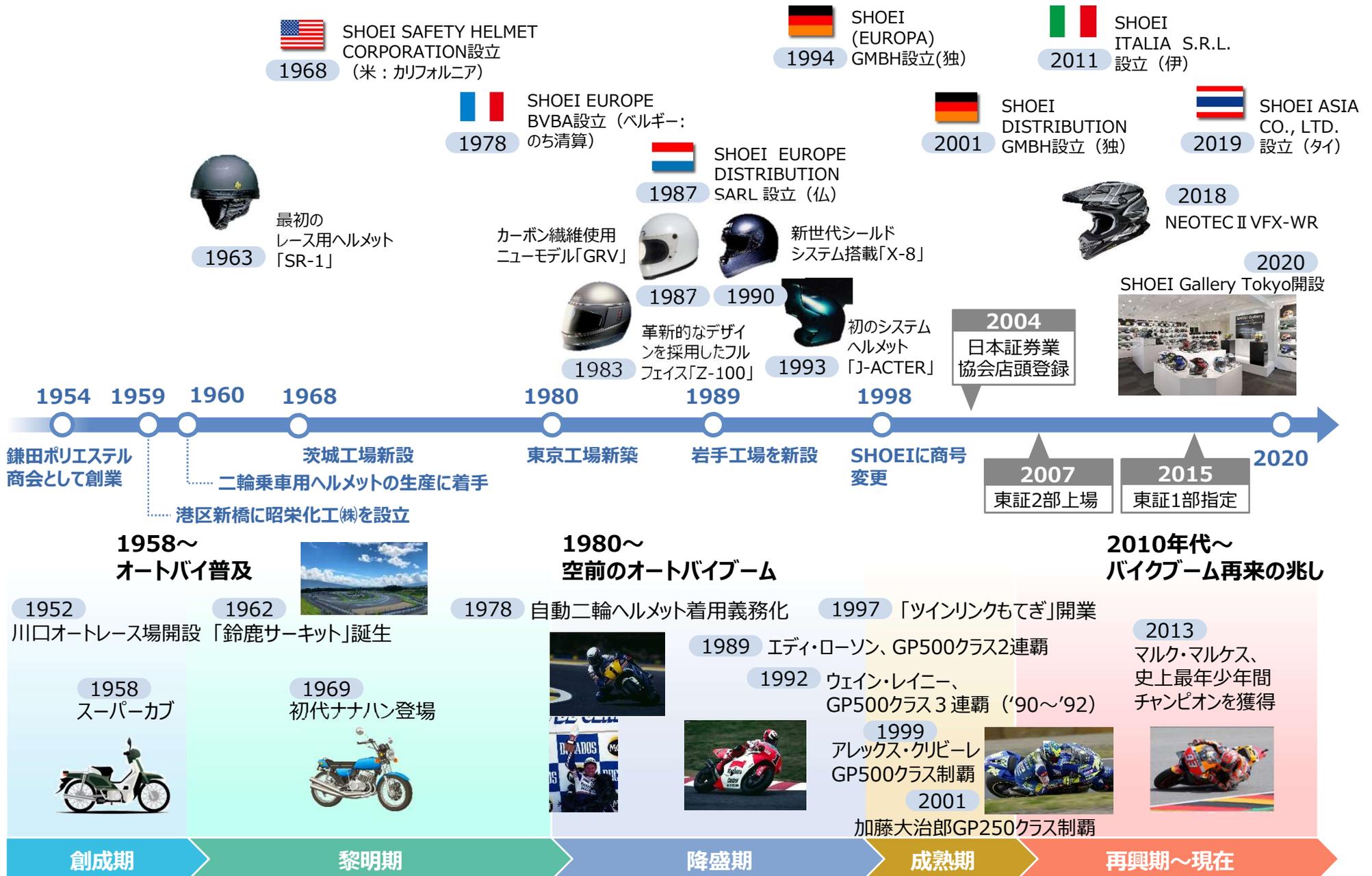
2. 事業内容



- オートバイ用を中心にヘルメットを製造、一部に航空機用や装甲車用なども製造
- 販売網は日本をはじめ、欧州、北南米、オセアニア、アジア等世界60カ国以上を網羅し、プレミアムヘルメットの分野ではほとんど全ての国でシェアNo.1



3. 会社沿革



4. 国内・海外拠点



岩手工場



本社



茨城工場

5. No.1を可能とするSHOEIの強み



製品力



安全性



造形美



完成度・
付加価値

製造現場での競争力



Just in
Time方式



クラフトマン
シップ



先進的生産
システム

世界販売での競争力



世界各国における代理店網



各国での綿密な
ユーザーニーズリサーチ



きめ細かなアフターサービス

設計～生産～販売～アフターサービスを含めた
柔軟な対応力

6. SHOEI品質～安全、快適、感動の融合したプレミアムヘルメット



Philosophy ～安全、快適、感動の融合

万が一の際に発揮される
最高のプロテクション性能

安全



COMFORT

PASSION

快適性

それを実現するための
ハイレベルな快適
性をライダーに提供

感動

走ることの「感動」を
もたらすこと



SHOEI SAFTY CONCEPT

～SHOEIが考える2つの安全性

Passive Safety

— ライダーを守る性能と安全規格 —

厳格なJIS規格を中心に世界各国の安全規格に対応



衝撃吸収性試験



耐貫通性試験



あごひも試験

Active Safety

— 「万が一」を起こさないための性能 —



軽量化による
安全性の向上



SHOEI独自のシェル構造
AIM/AIM+

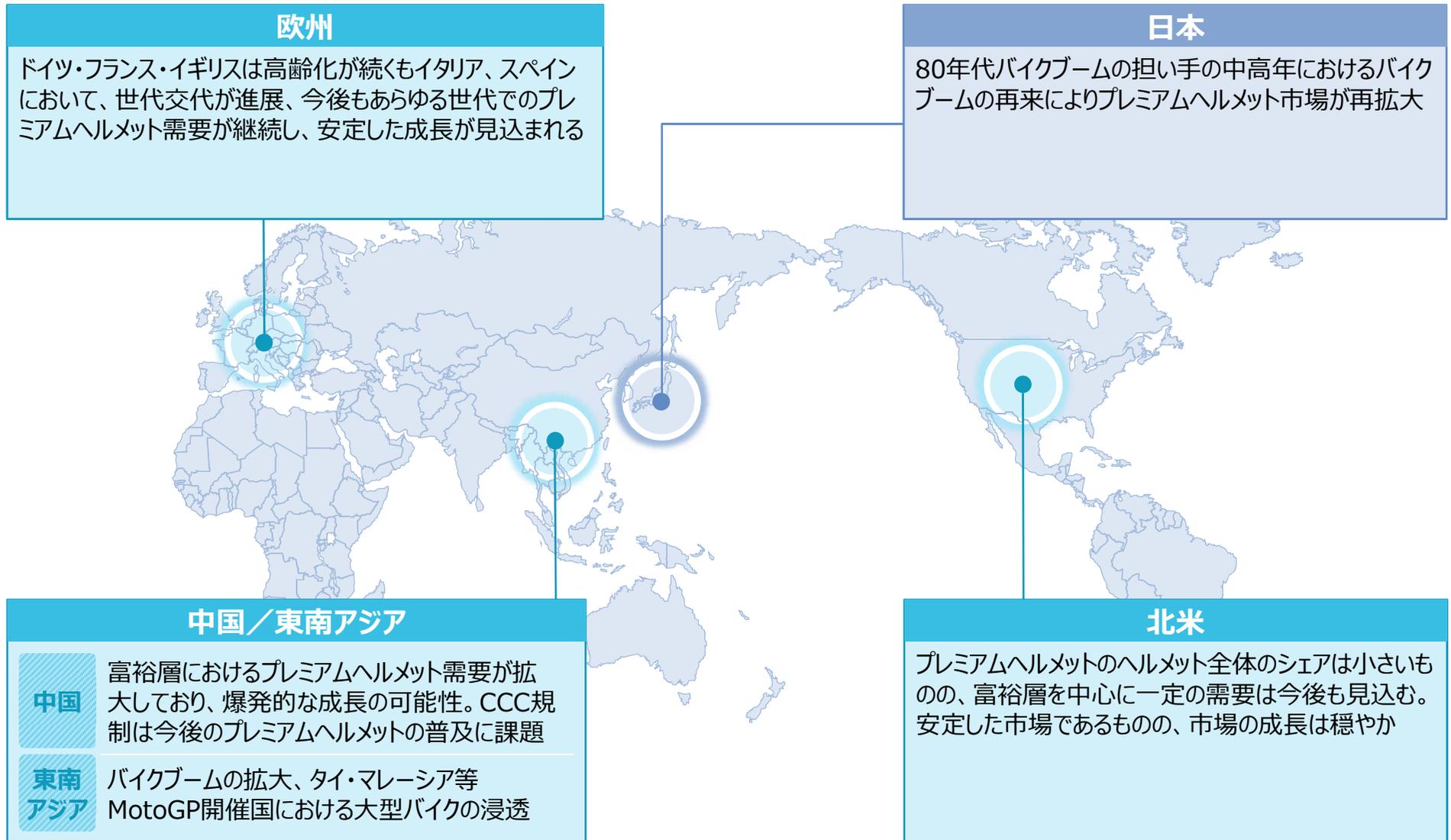


進化する
衝撃吸収ライナー

7. 業界環境



- 先進国において、ライダーの高齢化が進む中、高所得な中年・壮年ライダー層の旺盛な消費に支えられ好調は続くも、中長期的には横ばい、一方で新興国においては、MotoGPの世界普及等に伴うバイクブームの到来による若年層の需要拡大



8. SHOEIのESG経営について



社会課題

気候変動の深刻化

少子高齢化

安全・安心・快適な
生活の基盤づくり

ライフスタイルの多様性

多元化する労働力問題

環境 (Environment)



地球温暖化防止

- CO₂排出量の抑制に向けた再生エネの利用促進、工場照明LED化



災害防止・水質改善

- 工場敷地の一部で雨水浸透方式の採用

豊かな創造力と誇れる品質



ガバナンス (Governance)

コーポレートガバナンス/コンプライアンス

公正で誠実な企業活動



- 取締役会
 - 全5名、うち社外2名
- 監査役・監査役会
 - 全3名、うち社外2名

社会 (Society) ~事業を通じた社会課題への貢献

安全技術の発展・貢献

- 安全・快適なヘルメットの開発を通じ事業を通じた消費者の安全・健康を促進

労働環境改善

- 工場作業場への空調設備設置

地域社会との調和

- コロナ感染症対策として茨城県稲敷市と岩手県一関市に計1億円を寄付
- 近隣小学校児童の社会 見学を定期的に受け入れ





IRに関する
お問い合わせ先

株式会社SHOEI

電話

03-5688-5160

e-mail

ir@shoehelmet.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。